

がん登録の概要

がん登録

がん対策を効果的に実施するためには、がん患者数、罹患率、生存率及び治療効果等のデータにより正確な実態を把握することが必須であり、その中心的な役割を果たすのががん登録です。

現在国内においては主に「[全国がん登録](#)」と「[院内がん登録](#)」の2種類があります。

全国がん登録

全国がん登録は、2016年1月に始まり、日本でがんと診断されたすべての人のデータを国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。居住地域にかかわらず全国どこの医療機関で診断を受けても、がんと診断された人のデータは都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、国のデータベースで一元管理されています。

院内がん登録

院内がん登録は、院内のがん診療の実態把握や他の医療機関との比較を行いがん医療の向上を図るため各医療機関が実施主体となり行うものです。院内でがんの診断・治療を行った全患者の情報等を登録する仕組みです。

[【院内がん登録とは-がん情報サービス】](#)

当院の取組み

当院のがん登録

当院が提出したデータは神奈川県内の拠点病院とまとめられ集計・分析がされています。

その結果は神奈川県がん診療連携協議会のHPで見ることができます。

全国の拠点病院等の結果は国立がん研究センターのHP「[がん情報サービス](#)」で見ることができます。

[【がん登録-神奈川県がん診療連携協議会HP】](#)

[【院内がん登録全国集計-がん情報サービス】](#)

個人情報について

登録された個人情報については、国で定められている「[がん登録等の推進に関する法律](#)」

当院における「[個人情報の取り扱いについて](#)」に記載されているとおり、個人のプライバシーや権利が侵害されることのないよう厳重に管理しています。

